

平成31年度当初予算 復活見積調書(市長)

総合政策部

■一般会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財源内訳					査定額	財源内訳					査定結果	
						一財	二財	一財	二財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1	人権政策課	総合調整推進費	びわこ南部地域実行委員会関連経費	部落差別をはじめとするあらゆる差別を撤廃するため、差別撤廃と人権確立の法制度等整備をはかることを目的とし、「人権侵害救済法(案)」の制定のための啓発普及、差別撤廃と人権確立の法整備をはかるための啓発普及、賛同署名の獲得や政府・国会への要請運動を行います。	H31.5総会 H31.8連続講座 H31.10交流研修会 H31.12基本法ニュース発行 H32.2幹事級研修会 年に3回程度、事務局会議、幹事会 H31年度は草津市が事務局	2,572	2,572	0	0	461	0	0	0	0	461	461	0	0	0	0	0	461	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
2	人権センター	人権擁護平和啓発推進費、住民交流啓発費	いのち・愛・人権のつどい、市民のつどい開催費	「いのち・愛・人権のつどい」については、「ゆたかな草津 人権と平和を守る都市」宣言や「草津市人権擁護に関する条例」等の具現化するための取り組みの一つとして、さまざまな人権課題を幅広く考える機会として、31回の開催を行ってきました。また、市民が同和問題への認識を深めるとともに、人権尊重の大切さを学び、部落差別の解消をめざして「人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい」を、41回の開催を行ってきています。法や条例等で人権啓発・教育に努めることとされており、いまだ差別が現存する状況において、市民に対する人権啓発・教育の重要な柱としています。	平成31年3月 人権擁護推進協議会 会議 平成31年7月 人権擁護推進協議会 会議 平成31年9月 いのち・愛・人権のつどい 平成31年12月 人権擁護推進協議会 会議 平成32年2月 市民のつどい 平成32年3月 人権擁護推進協議会 会議	2,810	2,472	0	0	2,810	0	338	0	0	2,472	2,810	0	338	0	0	0	2,472	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
3	人権センター	社会同和教育研究大会等開催費	女性集会開催費、青年集会開催費	(女性のつどい)部落解放を全市民に広げ一切の差別を根絶し、人権が尊重された社会をめざして、昭和57年から開催しています。実行委員は市内の各種団体から参加されており、互いに学びあつたものを市民に啓発しています。 (青年集会)部落解放をはじめ、あらゆる人権問題について考え、話し合い、そしてその解決に向け、青年ができることを見だし、すべての人権が尊重される社会をめざして、行動していくことを目的とし、昭和59年から開催しています。実行委員は、自ら希望した市内在住・在勤の方が参加され、集会に向けて学びを深め、一人ひとりの思いを市民に啓発しています。	(女性のつどい) 4月 実行委員募集 6～10月 実行委員会開催(約5回) ※学習を深め、開催内容を検討 11月11日 つどい開催(アマカホール) 2月 実行委員会開催 ※振り返り、来年度につなげる (青年集会) 4月～ 実行委員募集 6月～1月 実行委員会開催(約14回) ※学びを深め、開催内容を検討 1月27日 集会開催(アマカホール) 2月 実行委員会開催 ※振り返り、来年度につなげる	797	797	0	0	797	0	0	0	0	797	797	0	0	0	0	797	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
4	草津未来研究所	アーバンデザインセンター運営費	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会運営費	<目的> アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の運営方針や運営状況等を確認します。 <効果> 運営懇話会の開催により、市民、企業、大学、NPO、行政の連携をさらに深化させ、草津市全体をさらに魅力のある都市にするための意見交換を行うことができます。	平成31年5月 第1回開催(予定) 平成31年10月 第2回開催(予定) 平成32年2月 第3回開催(予定)	280	280	0	0	280	0	0	0	0	280	280	0	0	0	0	280	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
5	草津未来研究所	アーバンデザインセンター運営費	都市デザイン研究会開催費	<目的> UDCBKの運営に直接関わっていたくさつ川センター長・武田副センター長に専門的な知見から市の施策および事業の課題に対する助言をいただき、UDCBKの事業に活かします。 <効果> 草津市およびJR南草津駅周辺の都市デザインを専門的な知見から学び、UDCBKの事業へ反映させることができます。	平成31年5月 第1回開催(予定) 平成31年7月 第2回開催(予定) 平成31年9月 第3回開催(予定) 平成31年11月 第4回開催(予定) 平成32年1月 第5回開催(予定) 平成32年3月 第6回開催(予定)	80	80	0	0	80	0	0	0	0	80	0	0	0	0	0	0	80	市長査定により、他事業との優先度、課題整理の状況から、措置しませんでした。

平成31年度当初予算 復活見積調書(市長)

総合政策部

■一般会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		部長間調整後		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果
						一財	二財	一財	二財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
6	草津未来研究所	アーバンデザインセンター運営費	都市デザイン連携プロジェクト社会実験事業費	<p><目的> 草津市およびJR南草津駅周辺のまちづくりを都市デザインの視点から取り組みます。</p> <p><効果> 草津のまちづくりの推進のために、「公」民「学」が多様な価値観、個性、創造性を基礎とした知見を持ち寄り、専門家の先導的助言を得て、互いの良さを活かしつつ、長期的な見通しを持った都市デザインを具体的なフィールドで構想することができます。</p>	<p>平成31年4月 関係者協議 平成31年6月 委託契約・業務開始 平成32年2月 成果提出、関係者へフィードバック</p>	500	250	0	0	500	250	0	0	0	250	500	250	0	0	0	250	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
7	草津未来研究所	アーバンデザインセンター運営費	UDCBK社会実験準備事業	<p><目的> 草津市が地域包括協定を締結している大学を対象とし、市の事業と関連する部署と連携し、各大学が得意とする分野において知見を発揮できるように草津市をフィールドに社会実験の実現可能性を検証し、計画を提案してもらいます。</p> <p><効果> 大学の持つ知的財産や人材、学生の力といった資源をまちづくりの中に取り入れ、そのことを活かしたまちづくりを進めることができます。</p>	<p>平成31年4月 テーマ設定、募集開始 平成31年6月 委託契約・業務開始 平成32年2月 成果提出、発表会</p>	500	250	0	0	500	250	0	0	0	250	500	250	0	0	0	250	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
8	草津未来研究所	アーバンデザインセンター運営費	ジオラマ製作費	<p><目的> ・UDCBKを外から見たときにアーバンデザインセンターらしさが分かり、UDCBKがどのような場所なのか外から見て分かりやすくします。</p> <p><効果> ・大人も子どもも模型を見たり触れることにより、世代を超えて都市デザインについて考える動機付けとなります。</p> <p>平面の地図とは違い、空間として立体的に全体を捉えることが可能となります。</p> <p>・全体の一部として一点を俯瞰して見ることができ、想像力が働きます。</p>	<p>平成31年4月 関係者協議 平成31年6月 製作内容等の詳細決定 平成31年9月 製作開始 平成32年3月 完成</p>	500	500	0	0	500	0	0	0	0	500	500	0	0	0	0	500	市長査定により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
9	行政経営課	会計管理費、児童手当給付費、行政システム改革推進費	バックヤード業務等アウトソーシング人材派遣委託、執務室備品	<p>平成32年4月からのバックヤード業務等の委託を安定的に確実に履行するため、運用の仕組み等を整備すべく6ヶ月間の人材派遣を導入します。また、委託作業の遂行に必要な備品について、既存備品も活用しながら不足するものについて新規で調達します。</p>	<p>平成31年10月～ バックヤード業務の委託に向けた人材派遣の導入(6ヶ月間) 平成32年4月～ バックヤード業務の委託開始</p> <p>備品については、平成31年度(後半)に調達し、3月末までに環境整備を完了。</p>	9,577	9,577	0	0	9,577	0	0	0	0	9,577	0	0	0	0	0	9,577	市長査定により、他事業との優先度、課題整理の状況から、措置しませんでした。
10	行政経営課	行政システム改革推進費	総合窓口・バックヤード業務アウトソーシング事業者選定委員報酬	<p>総合窓口業務およびバックヤード業務等の委託はサービスの質の維持向上、業務効率化を図るため、価格による競争によらず、事業者からの提案を受けるプロポーザル方式を採用することを想定しています。窓口業務は市民サービスに直結し、多額の委託料が必要となることから、事業者選定委員会に外部委員を入れることによって公平性、客観性および専門性を高めます。</p>	<p>【総合窓口業務委託事業者選定委員会】 第1回：平成31年10月ごろ 総合窓口の導入についての説明 第2回：平成31年12月ごろ 募集要項、審査基準仕様書等の説明 第3回：平成32年2月ごろ プレゼンテーション審査の実施</p> <p>【バックヤード業務等業務委託事業者選定委員会】 第1回：平成31年6月ごろ 募集要項、審査基準仕様書等の説明 第2回：平成31年7月ごろ プレゼンテーション審査の実施</p>	325	325	130	130	195	0	0	0	0	195	130	0	0	0	0	130	市長査定により、事業内容の修正を行い、必要額を措置しました。
11	行政経営課	行政システム改革推進費	総合窓口導入検討支援業務委託	<p>転入・転出等の複数の手続きが必要になる場合の手続きを可能な限りワンストップで扱う総合窓口を導入するにあたり、専門的知見と豊富な実績を有する事業者より支援を受けることによって、効率的・効果的に検討を進めます。</p>	<p>【総合窓口導入支援業務委託】 平成31年4月：プロポーザル発注 平成31年6月ごろ：契約締結(期間：平成32年3月末まで)</p>	9,735	9,735	0	0	9,735	0	0	0	0	9,735	0	0	0	0	0	9,735	市長査定により、他事業との優先度、課題整理の状況から、措置しませんでした。

